

1) 平成 30 年度事業報告

1. 概要（理事長：窪田 茂）

理事長に就任し、新たな目線で JCD の今とこれからを見据え、スタートを切った 1 年。就任時に掲げた 2 つのテーマ、会員の増強と若返り、正会員と賛助会員、本部と各支部などのコミュニケーションの活性化。各項目、達成という段階ではありませんが、会員増強について言えば、正会員の入会、中でも若手の割合が目立ち始めました。彼らに JCD 活動に積極的に参加してもらうことは、協会の活性化と発展に繋がり、重要なことであると感じております。台湾での APSDA や IDM の参加などを通し、周辺のデザイン団体や海外デザイン団体との関係性が見えてきました。次年度は更に大きな視点を持ち、JCD のポジションを築いて参ります。また、本年度はアワードの統合に向けて、相当な時間を掛け、詳細が詰まってきており、いよいよ次年度早々に日本空間デザイン賞第一回の開催を迎えます。

2. 各事業の報告

(1) 事業部（部長：永井資久）

（委員長会議議長：大滝道晴）

平成 30 年度は、各委員会の中でも活性化に重点をおき、新たな事業の取り組みのための強化戦略、組織の充実に支援体制を行ってまいりました。

1. 賛助委員会

昨年、第 12 回を迎えた『JCD プロダクト オブ ザ イヤー』は、ここ数年、参加企業の減少、多様な職種の賛助会員の増加による公平性の欠如、正会員の投票率の低下など問題点が浮き彫りになっていました。第 13 回を迎える『JCD プロダクト オブ ザ イヤー』のマイナーチェンジを図るべく、永井副理事長と共に内容を含め強化を行いました。

- 関東支部賛助委員会の支援要請を行い、組織の充実を図り、委員長、副委員長（3 名）、書記、広報デザイン担当、その他の役割担当を選定して、組織強化を図りました。
- 内容は、アワードに参加できない技術、施工系、などを含む賛助企業に PR・広告部門をエントリー冊子に掲載する。
- 主に、上記の事項等を検討するため、月一回のペースで委員会を開催いたしました。

2. Soda 委員会

- 同委員会は、各委員会の中でも順調な活動が行われ、JCD に入会した正会員及び賛助企業には積極的にこの活動に参画を促しました。
- 特に賛助企業の中には、出前授業のような活動参加は、賛助会社の社員が参加するのにあたりご理解いただき、休みをとらなくても良い企業でできています。本活動に対するご理解が浸透してきています。
- 従って、月一回の Soda 委員会は、毎回 20 名以上の出席者で、賛助企業の女性等が急増しております。
- また、学生等によびかけ若い層にも体験してもらう機会を増やしています。

3. デザイン賞委員会

- DSA との合同デザイン賞の準備のため、笠原委員長の依頼を受け、JCD 側のスタッフ人員の募集及び依頼を行い、各分科会へ振りわけ、先行していた DSA 側とのバランスが確保されました。

4. シンポジウム委員会

- テーマ及び内容の検討会議等出席。
- 会場設営のための学生等の手配及び協賛企業依頼サポートを行いました。

①デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

■JCD デザインアワード 2018

JCD デザインアワード 2018 は昨年に次ぐ過去二番目の数となり、応募総数は 590 点を獲得することができた。国内応募数 452 点、海外応募数 138 点という内訳で海外からの応募数は過去最高に上る。国別では台湾から 84 点、香港から 21 点、中国から 23 点、シンガポールから 2 点、韓国から 3 点、ドイツから 3 点、アメリカから 1 点、カナダから 1 点となっており、アジアだけでなく世界各国から応募してもらえるアワードになったことが特筆すべき点である。

部門は昨年同様 6 部門に別け、インターネットによって作品を募集。

一次審査は審査員 27 名のネット審査によって BEST100 の作品 106 点を選出。二次審査は 7 月 7 日東京デザインセンターにて公開審査で行われた。審査委員長橋本夕紀夫、出原秀仁、柏木博、小坂竜、田中仁、仲佐猛、西尾洋一、西澤立衛という建築、デザインだけではなく発注者、評論家、メディア、カメラマンという業界を取り巻く諸氏にお願いした。

まず BEST100 から銀賞以上 23 作品を部門別に選出、そのなかからさらに金賞以上 6 作品を選んだ。大賞を決めるプロセスではそれぞれの審査員が投票の有無に関わらず 6 作品全てに対して意見を述べ、その上で無記名投票を実施。選考プロセスの透明性、公平性を重視した質の高い審査となった。結果として大賞には「静岡県富士山世界遺産センター」が選ばれた。公開審査の記事は商店建築 9 月号において 3 ページにわたって特集されている。

贈賞式は 2018 年 11 月 2 日明治記念館で執り行われた。引き続き行われたデザインメッセージ

では丹青社高橋久弥氏、土井啓郁氏、笈川誠氏、武石正宣氏の4名でトークセッションを行い、終了後は出席者全員での立食パーティー交流会を行っている。贈賞式へは約130名の参加があった。

■JCD+DSAアワード統合

新アワードとなる「日本空間デザイン賞」の詳細を構築するためにJCD+DSAの三役及びデザイン賞委員の合同会議が月一回開かれている。それを補完する分科会も定期的開催。現在、概要、アワード名称、ロゴマーク（北川一成氏）、カテゴリー、応募料、評価基準、審査フロー、3次審査員選定、応募WEBシステム、応募フォーム等がほぼ決定している。アワードWEBサイトも年末に立ち上がり応募要項を配信開始、今後はプレスリリース用パンフレット、広報活動を強化していく予定である。

②Soda 委員会（委員長：新藤 力）

1. 6/12(火)、建築会館ホールで開催された(一社)日本建築学会が主催する「2018 年度子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」において登壇し JCD・Soda 委員会の活動報告をいたしました。また、2018 年度日本建築学会大会[東北]において開催された建築教育部門研究懇談会「みんなでつくる-専門家は市民・子どもに“建築”をどう伝えるのか-」の資料集にこれまでの Soda 活動について寄稿。専門家と子どもたちとの協働を通じたリテラシー育成の方法・内容・将来についての実践事例として紹介されました。
2. 7/7(土)、7/21(土)文京区立誠之小学校で開催された DSA 主催のデザインワークショップ「デザインがっこう」に Soda メンバーが協力参加。DSA さんとは相互のデザインワークショップでの協力を行っています。
3. 7/23(月)、応募しておりました(一財)住総研の「第 10 回住教育授業づくり助成」、Soda 委員会活動が今年度の助成対象に決定したとの通知がありました。JCD が助成を受けるのは初めてです。
4. 8/12(日)、「東京ミッドタウン・キッズウィーク 2018」において「夏休み!親子 de わくわくワークショップ」を開催。小学生親子 19 組の親子と Soda 委員会講師 21 名が参加。何でも修理をする“マニーのしゅうりやさん”、自分の心を覗くことができる“Black feeling”、将来ティファニーのデザイナーを夢見る 3 年生の女の子は素敵なジュエリーショップを創ってくれました。“キッズウィーク”で人気のワークショップになっています。ワークショップの後は恒例の「Soda/夏の夕涼み会」を、JCD デザインアワード 2017 銀賞受賞「ニクノトリコ」(家所亮二 JCD 会員設計)で開催いたしました。
5. 9/13(木)、江戸川区立小松川第二小学校で出前授業を開催(4 年 1 組・3 組/73 名対象)。「ぼく・わたしの部屋」をテーマに 1 人 1 作品の制作をサポート。「マイペースな子もいますので、やらせてやってください。」筈本先生は平和の森小学校からのお付き合いで、今回転校先の小学校でのワークショップ開催です。年明けには 2 組と 4 組さんのワークショップに伺います。

6. 10/5(金)品川区立伊藤小学校で出前授業を開催(4年生 71名対象)。校庭の横を新幹線が通る小学校。「あったらいいな、こんな店/世界で一つだけのお店を作ろう!」をテーマにグループ制作。ユニークだったのが言葉を売るお店。“うれしい言葉 300円、やさしい言葉 300円、おもしろい言葉 150円”言葉のメニューも用意してあります。
7. 11/4(日)、「GOOD DESIGN EXHIBITION 2018」にて屋台型ワークショップ「ポップアップカードを作ろう!〜お店・お家〜」を開催。2〜45歳まで51組が参加。2歳児のケーキが素晴らしい!!
8. 11/27(火)、九州地区で初めての出前授業を江戸時代の藩校の門が残る大分県杵築市立杵築小学校で開催(6年生 96名対象)。本部から9名、九州支部から12名の講師が参加いたしました。杵築市長を先頭に行政の積極的な協力をいただき実現。歴史と文化に内包されて育った子供たちがどのような感性を持っているのか、とても楽しみでした。作品のほとんどに杵築が名付けられ、みかん・海産物・湯・お茶といった郷土のいいものが登場いたします。給食の時、「先生は東京?東京にいつてみたいなあ。でもやっぱり杵築がいい!!」と話してくれた子供たちが印象的でした。当日は大分TV・新聞社の取材が入りました。
9. 年が明けて1/17(木)、沖縄支部主催、沖縄県西原町立坂田小学校(6年生 127名対象)にて出前授業開催。本部よりSoda副委員長を派遣。
10. 2/15(金)、福島県郡山市立富田東小学校でSoda史上最大規模となる4年生169名を対象とした出前授業を開催。東北支部主催で支部より41名、本部から応援3名の総勢44名の講師が参加。とても明るく元気な4年生で、自由奔放な発想によるテーマ設定には驚かされました。かぶると思いどおりの天気になる天気帽子を売るお店、大人には見えない駄菓子屋さん、いろいろな気持ちを売る「きもちや」は大変ユニークな世界観を提示してくれました。4年生は“不思議・魔法・夢・願い”がいっぱいです。こちら福島テレビ・新聞社の取材が入りました。
11. 2/18(月)・20(水)の2日間、3大名門公立小学校のひとつ、港区立白金小学校で出前授業を開催(6年生 91名対象)。弁護士・医師の家庭が多く6年生のほとんどが中学受験をする学校で少々身構えて伺いましたが、ノリのいい同じ小学生でした。駄菓子屋「たまには甘えていいかもね」のサブタイトルが“世の中あまくない駄菓子は甘い”がこの子供たちの心の内なのかもしれません。プレゼンテーション・シートには設定がこと細かに書かれていて、発表が論理的に整理されているところはさすがでした。
12. 2/26(火)、今回で8回目の開催となる定点校、杉並区立浜田山小学校での出前授業開催(6年生 123名対象)。毎年現実性のある作品が目立つ浜田山小学校ですが、今年は、いやな過去を消せる店・ニートのための「家出屋(シェルター)」・ストレス解消ストアなど今の子供たちの心に沈殿しているであろうテーマや、会いたい人に会える店・伝えたいところにメッセージを届けてくれる「神飛行機屋」といった“思い”をテーマにした作品が特徴的でした。
13. 2/28(木)、江戸川区立小松川第二小学校での出前授業は9月の4年1組・3組(73名)

に続いて 2 組・4 組(73 名)を対象に実施いたしました。あっという間に思い思いの「ぼく・わたしの部屋」が出来上がりました。

14. 3/24(日)、取り組みの質が高いと評価され(一財)住総研主催の「住まい・まち学習」教育実践研修会において実践事例として発表、同時にワークショップ「わたしのあかり-小さな灯りで豊かなスペースを」を開催しました。(女子栄養大学駒込キャンパス)

北海道支部では桑園小学校での活動、関西支部では大阪住まい情報センターとのタイアップ事業、九州支部ではデザインスクールキャラバンの取り組みを継続的に実施されており、沖縄支部も支部発足当初から全島小学校開催を目標に活動を継続されています。平成 30 年度、大分・福島での開催も実現し、全国規模での活動が定着しつつあると感じています。JCD の社会貢献活動のひとつとして、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

③シンポジウム委員会 (委員長：水谷晶人)

■SECTION60 の開催

2018 年 10 月 5 日 (金) 会場：東京デザインセンターにおいて、SECTION60 の開催を致しました。

40 年以上にわたり国内外の商環境デザインを牽引し、斬新であると同時に独自の深度をもつ空間を彫琢してきた杉本貴志氏が、2018 年 4 月に逝去されました。

氏は、JCD が 1993 年以来持続開催してきたデザインシンポジウム SECTION の発起者でもあります。

その SECTION の 60 回目を迎えるにあたり、JCD は空間デザイン団体として哀悼を表し、「杉本貴志の人と仕事を語る」と題してトークイベントを開催こととしました。

パネリストは、杉本氏が創成期から関わる無印良品で住宅開発を手がけた建築家の難波和彦氏、公私にわたり交流の深い照明デザイナーの面出薫氏、武蔵野美術大学で杉本氏の後を受け教鞭をとるインテリアデザイナーの片山正通氏。モデレーターを飯島直樹氏(インテリアデザイナー)が努めました。

いままでよりも長い時間を要したシンポジウムでしたが、節目としてそして今後につながる道しるべとして充実した素晴らしい講演会となりました。

東京デザインセンターにおいてのシンポジウムとしては最高人数となる約 200 名の方々が集まり大盛況となりました。

会場は、東京デザインセンター(五反田)のガレリアホールを、昨年につき、会場費無料、設備費有料でお借りする事ができた事と、賛助会員 18 社からの協賛を頂きましたので、黒字で開催ができました。

また、動画アーカイブを残す事で当日参加出来なかった方々への試聴を可能としています。今回は、協賛企業への報告書や礼状などの作成や、シンポジウムの記事化を進めており、広報委員会と連動しながら、より効率的で影響力のあるシンポジウムへしていきたいと考え

ております。

④ 広報委員会（委員長：飯島直樹）

1. JCD 本部に隣接のクラフテックギャラリーを活用し、ゼロ年代以降の空間デザインの新動向を探ろうと、トークセッションの場を企画した。オランダ FRAME 誌のコントリビューター高橋正明氏をパーソナリティに起用、毎回多彩なゲストクリエイターを呼ぶ。月一回開催なので「タカハシ ツキイチ」と命名、ワインを飲みながらのトークラウンジスタイルで運営する。2018 年 7 月の落合守征氏からはじまり、松本哲夫、井上愛之、神田亮平、武石正宣、吉田昌弘、平綿久晃・渡部智宏、岡部修三の各氏が登壇、続行中である。
2. SECTION は 60 回目をむかえ、2018 年 4 月に逝去された名誉会員、杉本貴志氏の人と仕事を語るシンポジウムを開催した（2018 年 10 月@東京デザインセンターB2F）。モデレーターは飯島直樹、パネリストに難波和彦氏、面出薫氏、片山正通氏を招聘し、6～70 年代の氏の出自の頃からパークハイアットホテルや無印良品のグローバルな展開にいたる広範囲な業績とデザインの深度について語った。約 200 名を超える業界関係者、ご遺族、古い友人が参加した。
3. IDM TOKYO 2018 を共同開催した。インテリア系 24 団体が協力する「インテリアデザインミーティング/IDM」の展覧会が企画され、青山スパイラルで実行した。JCD は共同主催者として企画に参加、会員の橋本夕紀夫が会場インスタレーションをデザインした。2018/11/30～2018/12/2 の三日間で 4300 名の来場者となった。展示作のアワード選考では JCD 会員の浦一也が大賞を受賞した。次回開催は 2020 年、JIPA に替わり主幹団体を JCD が担うこととなる。
4. 機関紙 SHOKANKYO 86 は年度末 2019 年 3 月に刊行となった。来年度から DSA アワードと統合する JCD デザインアワードの最後の記録掲載となる。

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度は APSDA 会議の出席と調整、また来年度に香港で予定されているイーストギャザリングの打合せ及び調整が、主な事業となりました。

8 月 15 から 18 日に台北で行われました、TID デザイナーズウィークに出席し、TID デザインアワード授与式への出席や台中のオペラセンターで行われた、台中市長も出席するデザインアワードのパーティーに窪田理事長、折原交流委員と、私（武石国際委員長）が出席しました。

今回の TID のイベントの中には、APSDA の会議も計画されており、各国の理事長が出席し、今後の APSDA の運営や、アワードの計画などが話し合われました。

JCD としましては、今年度から新理事長になりました、窪田理事長の、各国代表に対する紹介も大きな意味があったのですが、中部支部の丹羽理事が JID の理事長も兼ねており、

今回の APSDA の会議に日本から二団体の体制で出席することが、今後の情報の共有化に役立つと感じました。

以前は隔年に一度の各国持ち回りのイベントと、それに対する会議を一度という、ゆっくりしたものだったのですが、クアラルンプールに本部を置くアソシエイトという新体制に変わってから、年に2,3回と頻繁に会議が行われるようになり、すべての会議に出席することは難しいので、情報の共有は大切にしていかななくてはなりません。

また12月5日から8日まで行われた、香港デザインインスパイアに出席してきました。香港のHKIDAも活発な活動を行っていますが、今回は次回のイーストギャザリングに対する下打合せも現地で行いました。

⑥ 賛助委員会（委員長：森川 一）

12回を終え一区切りつけた JCD Product of the year を、賛助委員会は今後どうしていくかという課題に対して議論を重ねてまいりました。支部賛助のメンバーにもご協力いただき活発な意見交換を行ないました。今期はまずはプロダクトを扱っていない賛助企業のメンバーに JCD Product of the year の冊子に広告を出してもらおう企画をたてました。

[JCD Product of the year 2019 の実施]

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助企業がその年の一押しの商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。13年目ということで、一区切りを付け、新たなスタートとして全賛助企業が参加できるプロダクトオブザイヤーを目指し、まずは自社の技術、仕組み等をアピールできる広告の頁を新設しました。

今回は賛助会員からの応募が46点、広告が3点という今までのの中では最高の参加率を達成できました。また投票に関しては正会員の投票数175名、投票率は42%という結果でした。参加が多かった次の年は応募が減る事が多いので、プロダクトオブザイヤー2020を見据えた行動を早めに取りれるよう前期にも増して、早め早めに定期的に賛助委員会を開催したいと考えます。

それ以外にも今期賛助委員会で深淵会（新年会）を行ないました。それぞれの交流を深める事ができた有意義な企画だったと思います。来期は未定ですが賛助企業同士の交流会を企画しようと考えております。賛助企業同士の交流、正会員との交流を深めお互いの情報交換の場になればと考えております。昨年より一層一体感を持って、組織として大きく成長したと実感できた1年でした。来期もこのまま進めていきたいと考えております。

⑦ 空間委員会（委員長：鹿目久美子）

1. JAPAN SHOP 2019 出展について

2019年第25回 建築・建材展が東京ビッグサイト東3・5・6ホールで開催された。

JCD セミナーは3月8日14:00～15:30 会議棟6F 高橋正明氏、塩田健一氏、鈴木ケイスケ氏によるパネルディスカッション「2020年以降、商環境デザインはどうなるの

か」というテーマで行われた。

2. 年鑑刊行について

前回の理事会で六耀社から3団体に対する印税に関しての要望があり、3団体への実質的な支払いを免除とすることが理事会で承認された。

⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

今期も女子会を20名限定で「社食堂」にて開催。

第三回は10月11日株式会社丹青社デザインセンタープランニングディレクター 矢加部美穂さんをゲストに「デザイン経営って何？」というタイトルでこれからのデザインを通して企業との関わり合い方や私達デザイナーに出来る可能性なども探る話で盛り上がった。

第四回は3月22日に渋谷ストリームのデザインアーキテクトを務められた株式会社シーラカンズアンドアソシエイツパートナーの建築家 赤松 佳珠子さんを迎えて

「渋谷大改革が始まった！」というタイトルでプロジェクトの苦労話やこれから変貌遂げる渋谷についてのお話を、映像を交えながらお話していただいた。

(2)支部統括部（部長：小坂 竜）

（支部長会議議長（東日本）：長谷川 演）

昨年に引き続き北陸支部の立ち上げを進行させた。

結果、富山、金沢とメンバーの片よりが出たため一旦その調整の時期となった。

そして、平成30年度の支部会議は来年度から始まるデザインアワード合併を、どう使い会員増強へ繋げるかを議論した。

まだ情報の少ない中、各支部長と共にアワードのアップグレードとそれによるJCD活動の活発化をイメージ出来た。

（支部長会議議長（西日本）：加藤博正）

平成30年度支部長会議は、平成30年11月3日にJCD事務局にて各支部長が参加して行われた。

平成30年の支部長会議は、来年度からDSAと協力し合同で始まるデザインアワードを盛り立て、そのことを大きく広めると同時にJCD・DSA合同アワードをきっかけにJCDの会員増強を行うプランを各支部より持ち寄り発表してもらった。

JCD全体として「どのような使われ方」があるか、アワードをどのように「活用できるか？」という視点があり、それぞれの支部長に語ってもらった。

全体的な意見としてJCDが次世代に向けたツールとしての活用することが意見として出てきた。

①北海道支部（支部長：高橋 恵）

北海道支部総会

【概要】平成 29 年度活動及び収支報告、平成 30 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】平成 30 年 5 月 18 日 プレミアホテル TSUBAKI にて

総会出席 12 名 懇親会出席 25 名参加

運営会議+セミナー

【概要】運営会議と一緒にサンゲツさんとケイミューさんの東京の営業の方々がきて商品説明のセミナーをして頂きました。その後 懇親会も開催されました。

【日程】平成 30 年 7 月 18 日 アトリエテンマにて 11 名参加

運営会議+ビアガーデン

【概要】運営会議を乃村工藝社札幌支店さんの会議室を借りて行いその後、大通公園で開催されているビアガーデンに行き交流を深めました。

【日程】平成 30 年 8 月 8 日 乃村工藝社札幌支店にて 8 名参加

デザインキャンプ

【概要】4 年ぶりの開催で札幌から 1 時間半ほどの当別のキャンプ場で行いました。陶芸を行ったり、バーベキューをしたり夜中まで熱いトークを繰り広げたりと自然の中で楽しい交流を行いました。

【日程】平成 30 年 9 月 1 日 2 日 道民の森 にて 17 名参加

Soda 桑園小学校

【概要】デザインを通しての社会活動。おみせづくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。専門家が講評・評価し、子供達に新たな発見や発想の機会を見いださせる。

【日程】一回目 11 月 26 日 二回目 12 月 5 日 三回目 12 月 19 日

【会場】桑園小学校 札幌市中央区北 8 条西 17 丁目

【対象】6 年生 132 名 16 チーム

【講師】JCD 会員 6 名 賛助会員 2 名 ボランティア 5 名 その他素材ご提供企業多数

【成果】デザイン、仕事の楽しさを伝え、店舗の模型制作を通して楽しく作業してもらいました。プレゼンの大切さも理解してもらい。プレゼンテーションにも凝って発表してくれました。

クリスマスパーティー

【日程】12 月 11 日（火）

【参加人数】60 名程度

【会場】ペシエグラン 札幌市中央区

【成果】毎年 JCD と HIPA 北海道インテリアプランナー協会との合同の恒例の行事ですが今年も、HICA 北海道インテリアコーディネーター協会と HAD 北海道デザイン協議会も参加して頂き 4 団体合同で行いました。

参加者の方々にプレゼントを持参して頂き、プレゼント交換をする等クリスマスらしい雰囲気もでて盛り上がるクリスマスパーティーになりました。

第 5 回 JCD 北海道支部デザインアワード

【日程】2 月 1 日～2 月 7 日

【会場】ORORI BISSE大通ビッセ イベントスペース

16 点の応募を頂き、今回は窪田さん、飯島さん、小坂さん、折原さん、に審査して頂きました。数は少ないですが、今年は力作が多かったように思います。表彰式には理事長の窪田さんに来て頂き、表彰式後ミニセミナーも開催しました。その後懇親会も開催し北海道支部の会員また作品応募者との交流をして頂きました。

②東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・積極的に他団体、企業との交流を増やす
- ・会員、賛助会員が互いに協力出来る環境づくりの強化
- ・遠方の会員も参加できる仕組みの構築

【活動報告】

●東北支部地区長会議

【日程】5月15日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】7名

【概要】前年度の事業報告及び収支報告。今年度活動計画及び予算作成

●東北支部定時総会打合せ（青森支部）

【日程】5月18日 【場所】青森市内 【参加人数】8名

【概要】青森地区会員6名、支部長・事務局の計8名にて、総会会場、懇親会会場、翌日の青森観光、ゴルフ場等の段取り分担等の打合せを行いました。

●東北支部定時総会

【日程】7月6日 【場所】青森市ウエディングプラザアラスカ 【参加人数】36名

【概要】支部総会通常総会を青森で初開催致しました。終了後賛助会員のPR会として、タカラスタンド（株）及び名古屋モザイク工業（株）の2社より商品説明、質問会を行いました。その後、総会参加者以外の方も入場頂き、五所川原街づくり株式会社代表取締役の葛西英機氏より、五所川原ELMの発起から開業、現在までのお話しをお聞きしました。青森開催にも関わらず、各地区より大勢集まり、普段あまりお会いできない青森地区会員との交流も深まりました。

●青森ゴルフコンペ及び青森市内視察

【日程】7月7日 【場所】青森市内 【参加人数】コンペ12名 青森市内視察6名

【概要】青森地区会員のアテンドにより、文化交流施設「わらっせ」にてねぶた工房、展示物などを視察致しました。

●ビアパーティー

【日程】8月31日 【場所】仙台市内 【参加人数】26名

【概要】小雨降る中ではありましたが、会員、賛助会員共に大勢の参加を頂き、大

いに盛り上がりました。

●デザインキャンプ in 山形

【日程】10月12日～13日 【場所】山形市内 【参加人数】15名

【概要】初日は、オリエンタルカーペット（山形緞通）の工場を視察し、渡辺社長自ら歴史ある建物の工場内をご案内頂きました。会社の歴史・由来から始まり、各カーペットの工程を見学致しました。中々見る事の出来ない製作現場に参加者は大満足致しました。

その後、ホテルへ移動し、(株)サカイ、(株)ディンプレックスジャパンの2社より商品PR、質問会を行いました。お昼は山形地区会員の方々に芋煮を作って頂き、山形市馬見ヶ崎河川敷にて芋煮会を実施。2日目は山形市御殿堰を視察し、七日町御殿堰(株)結城社長より、ご案内頂き、開発コンセプトから現在までのお話しをして頂き、最後は山形そばで締めくくりました。また、今回のデザインキャンプはsoda委員長の新藤社長にゲストとしてご参加頂きました。

●東北支部地区長会議

【日程】12月7日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】7名

【概要】次年度体制・Sodaワークショップ説明

●東北支部新年会

【日程】1月24日 【場所】仙台市内 【参加人数】30名

【概要】今年度の活動報告・Sodaワークショップ説明

東北楽天イーグルス稲虎応援団 団長のお店「おでん三吉」にて行い、事前に説得にあたった休眠会員、4月からの新規会員、初参加の賛助など総勢30名で盛大に行いました。

●郡山 Soda 参加者概要説明会・郡山地区新年会

【日程】1月25日 【場所】ピオ・プランナーズ事務所 【参加人数】24名

【概要】今年度の活動報告・Sodaワークショップ概要説明・事前準備段取り説明
郡山地区初開催でさらに最大人数でのSodaワークショップの為、過去のビデオと資料などで、事前説明会を行いました。ピオ・プランナーズ社員の皆様にも大勢参加と事前準備をして頂きました。

●郡山市立富田東小学校 Soda 出前授業

【日程】2月15日 【場所】郡山市立富田東小学校 【参加人数】43名

【概要】4年生168名、20グループ（1グループ8～9名）で過去最大人数での開催となりました。関東支部より新藤Soda委員長、小田切さん、木村さんにお越し頂き、東北でも郡山を中心とした正会員9名、賛助会員16名、その他ピオ・プランナーズ社員の皆様をはじめ、協力会社の皆様のご協力のもと、無事時間内に制作、発表する事が出来ました。また地元新聞社、

テレビ局の取材も多数入り、多くのメディアでも紹介され、JCD の活動を広く紹介する事が出来ました。

③関東支部（支部長：小田秀樹）

* 関東支部の各委員会活動の内容を充実する。

今期は、関東支部の各委員会活動の内容を充実して、正会員や賛助会員の参加を促進し会員の増強に貢献する。

（新藤力副支部長、品川正之副支部長）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

「30 年度のとくトーク」は 4 回を開催

- 1) とくトーク・6 月 15 開催 パネラー「ブランドウーモトハシ 藤原 巧」 一匠一
- 2) とくトーク・10 月 30 日開催「アトリエテンマ 長谷川 演」 一1000 プロジェクトの先一
- 3) とくトーク・12 月 14 日開催「フラウム：ヨーコフラクチュール・雲野一鮮」文字×空間×未来
- 4) とくトーク・2 月 19 日開催「BC ウッド・ブレア バラード」北米ファニチャートレンド

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長
本間克典副委員長

- 1) ほぼ月 1 回（4/17, 5/8, 6/5, 7/17, 9/11, 12/4, 2/12, 3/12）の定例委員会を開催し、JCD 正会員、賛助会員相互の向上のための意見交換を行った。
- 2) 今後の活動計画として賛助会員のショールーム、工場見学などの可能性について討議。順次実現出来るように検討を重ねることとなった。
- 3) 関東支部賛助委員会として賛助企業のパンフレット作成について協議中。
- 4) 6 月の定例委員会は Soda 委員会との合同委員会として交流をした。
- 5) 賛助会員相互の親睦のため、7 月 28 日（土）中津川マス釣り場の BBQ イベントを企画したが台風のため中止、8 月 24 日（金）の熱海海上花火見物会は台風一過実施した。
- 6) 広報委員会と連携し、関東支部機関紙に賛助会員企業の紹介記事を掲載した。
- 7) 全国賛助委員会にオブザーバーとして賛助委員長及び賛助会員数名が参加協力した。
- 8) Soda 委員会の出前授業などの活動に参加協力した。
- 9) BBQ イベント中止の代替えとして 3 月 15 日ボーリングイベントを実施した。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

- 1) 昨年に引き続き、機関誌「JCD 関東支部デザイナーズ」の発刊により JCD 関東の活動及び情報を伝えました。
- 2) 機関誌、30 年度は年 3 回発行
 - ①一回目（7 月末発行）総会特集・とくトーク・プロダクトアワード・SODA 委員会報告・あのことろ・新人会員紹介など
 - ②二回目 夏／秋号（11 月末発行）とくトーク・会員の近況（雲野一鮮氏）・クラブ活

動報告・新人会員紹介（村上敦氏）・夏のパーティー報告・SODA 委員会報告
・賛助会員活動報告・新人会員紹介など

- ③三回目 冬／春号（3月中発行）・とくトーク・会員の近況（森田雅美氏）
・新人会員紹介（根井敦氏）・冬のパーティー報告（雲野一鮮氏）・SODA 委員会
報告（担当者）・新人会員・準会員紹介・賛助委会広告枠

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

- 1) 昨年に引き続き「JCD関東支部ホームページ」の調整を行うことでJCD関東の活動及び情報を分かりやすく伝える事が出来るようになった。
- 2) ホームページ情報の更新がより素早く行う事で情報の鮮度を保つことが出来た。
- 3) 正会員のHP掲載数を増やす事ができた。
- 4) 「JCD関東支部のホームページ」と「JCD関東支部のFace bookページ」のリンクを強化する事が出来た。
- 5) 「JCD関東支部 Face bookページ」にてイベントの立ち上げを行う事で素早い告知とリマインド機能にてイベント参加への誘導がスムーズになった。
- 6) 「JCD関東支部 Face bookページ」にトークなどの関東支部としての活動内容及び情報のアーカイブとしての機能を持てるようになった。

■交流委員会：折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長, 村上敦副委員長

- 1) 今期より会場費節減の目的もあり、パセラリゾートグランド渋谷をオフシーズンの8月31日に予約し、毎年年末に行っていたライブ大会を実施。152名、賛助会員ブースは4社の参加をいただき、恒例のJCDバンドと今年入会した高島屋スペースクリエイツ株式会社の田中由紀さん率いる「BNST」の2バンド演奏で多いに盛り上がった。
- 2) 冬のパーティーは2月22日に同会場で実施。1時間延長した会では、第一部はアワード受賞者の新入正会員、家所亮二氏、落合守征氏、山本大介氏3人による「アワード体験談」について語っていただき、第二部では夏に参加した「BNST」のワンマンライブを開催した。

■特別委員会：星明臣委員長

- 1) 30年度の支部研修旅行は「台北～台中」10名の会員の参加を得、11月11日～14日（3泊4日）催行しました。メトロポリタンオペラハウスや、アゴラタワー等々の最先端建築造形物を視察。CSIDの皆様との懇親・交流会も実現し、充実した研修旅行になりました。（詳細は、JCD Kanto 最新号に、水谷会員のレポートが掲載）

④中部支部（支部長：鳥居佳則）

4月 支部会議

・新支部長就任報告、役員委員選任

6月 支部総会開催

・台風の最中ビアガーデンにて54名参加

- 7月 支部会議
- ・ 中部支部デザインアワード、中部支部 SODA 事業
- 8月 夏のビアパーティー開催
- ・ 再度台風接近の最中 40 名程参加
- 9月 支部会議
- ・ SODA 事業準備 ・ 中部支部デザインアワード準備
 - ・ 来期定時総会中部支部にて会場候補打合せ
- 10月 支部会議
- ・ 中部支部 SODA 事業
天災などにより相手先松原小学校のカリキュラムの変動があり開催中止
 - ・ 中部デザインアワード
作品応募開始 10 月 22 日締切 11 月 30 日
特別審査員として橋本夕紀夫会員に依頼承諾済
 - ・ デザイントリプレックス 15
CCD030 周年記念のためかなり大掛かりなイベントを予定
 - ・ 来期定時総会
伊勢志摩にて会場設定費用算出シュミレーション
 - ・ 北陸支部との交流
来年 2 月 2 日北陸デザインフォーラムに参加 予定
- 11月 支部会議
- 12月 ・ 忘年会開催 40 名程参加
- 1月 支部会議
- ・ 北陸支部との交流
 - ・ 中部デザインアワード
 - ・ デザイントリプレックス 15、JCD, DSA, SDA3 団体合同会議
- 2月 北陸支部との交流
- ・ 2 月 2 日北陸デザインフォーラムに参加
中部デザインアワード贈賞式開催
デザイントリプレックス 15 開催、大賞受賞者によるシンポジウム開催
- 3月 本部理事会参加
- デザイントリプレックス 15
 - ・ 3 団体デザインアワード受賞作品 「日本の空間デザイン賞」 展示
 - ・ シンポジウム： 3 協会の大賞受賞者によるシンポジウム開催
 - ・ 懇親会パーティー開催 ※賛助会員合同

⑤ 関西支部（支部長：中村裕輔）

デザインをする人も。デザインを目指す人も。デザインに協力する人も。

みんな揃って JCD 関西!!

「次世代への取り組みの強化」

「社会貢献」

「賛助企業様との更なる深耕」

「他団体との更なる連携」

今年度は委員会体制の再編と委員の若返りを計り再スタートしました。

新しいイベントも取り入れ、月例の合同委員会で施策を検討しました。

（開催場所：スペース・コイズミ照明・乃村）

7月1日 次世代向けセミナー 「隣の芝生は青いのか」

京都マテリアルにて開催 参加者 39名

※業界を超えてのトークセッション

7月23日 支部集会（賛助会員PR会・懇親会）

屋敷「あまべ」にて開催 参加者 54名

※6/18 震災にて延期

8月25日 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業「こどもたちと創る商店街」

参加者 52名（小学生 29名）

模型ワークショップ+商店街見学

10月3日 秋のミートパーティ

ジョーテラス「Good spoon」 参加者 59名

カームデザイン金沢氏のトークイベント

10月13日 関西学生シンポジウムの開催（4団体共催）

大阪デザインセンターにて開催 5団体合同（JCD/JID/JIDA/KIPA）

10月28日 DIY フェス ワークショップフェス

大阪市立住まい情報センター

テーブルランプ作りのワークショップ JCD ブース 34名の参加

12月6日 クリスマスイベント

遠藤照明 SR にて 「女性の社会進出」

躍進！女子力！トークセッション & ライブ（JCD West Band）

12月12日 大阪市商店会総連盟主催

「第10回大阪市あきないグランプリ表彰式」

大阪産業創造館

3月11日～15日 4団体連合 「日本の空間デザイン展」

大光電機大阪ショールーム

⑥ 中国支部（支部長：深田勝哉）

●活動方針について

平成30年度の中国支部活動方針は「若手デザイナーが活躍するための環境創り」をテーマに活動してきました。中国支部の中心的事業であるデザインデイズでは正会員と次世代を担う学生たちとの交流も積極的にでき、有意義な事業となっています。隔月の例会時での賛助会によるセミナー、海外でのデザインで研修活動など、勉強会も充実した年にすることができました。

●組織改革

今期より支部事務局移転に伴い支部中心メンバーが大きく若返り、新たな支部新体制に向けて始動し始めました。

●例会活動

- 4月13日 29年度支部総会 事業報告・新年度計画発表・新組織発表 (岡山)
デュビット・ジャパン様による「世界の水回りトレンドセミナー」
例会後の懇親会も正会員設計のダイニングバーで楽しく盛り上がりました。
- 5月25日 定時総会へ中国支部より7名参加 (東京)
カナダ大使館での総会後の懇親会など他支部との交流。
- 6月15日 第2回JCD中国支部例会&ミニセミナー (福山)
ケイミュー株式会社様による最新商品セミナー
- 8月24日 第3回JCD中国支部例会&ビアパーティー (広島)
日東製陶所さまによる「チェルシエ、世界のタイル最新トレンドセミナー」
- 10月26日 第4回JCD中国支部例会&ミニセミナー (広島)
大光電機株式会社さまによる「照明手法と実例セミナー」
- 11月17日 広島デザインデイズ2018開催 学生デザインコンパレション (広島)
学生たちによる素晴らしいプレゼンに刺激を受けた会となりました。
- 11月18日 広島デザインデイズ2018開催 支部アワード贈賞式 (広島)
応募数も徐々に増えて、さらに発展させたい事業となっています。
- 12月14日 第5回中国支部例会&大忘年会 (福山)
福山炭火ワイン酒場ココモにて多数参加で楽しい忘年会となりました。
- 1月16日 シンガポール デザイン研修(4日間)
ホテル、レストラン、BAR、建築とみっちりシンガポールのデザインを堪能した4日間となりました。
- 3月1日 賛助会メーカー見学&九州支部交流会鍋塾 (福岡)
株式会社ケイミュー北九州工場、株式会社サカイ久留米工場を見学させていただきました。その後博多にて九州支部との交流会。太宰府天満宮にて、協会の発展を祈願いたしました。

⑦ 四国支部（支部長：長尾勝彦）

第3回 SHIKOKU デザインフュージョンが4団体合同で無事開催でき、また第4回 SHIKOKU デザインフュージョンに向け実行委員会が進行できたこと、財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ準備等膨大なアート作品に関わられたこと、東京総会カナダ大使館

にて支部報告ができたこと、OB 会が開催でき懐かしい先輩たちから昔話が聞けたこと、また支部賛助会員サンゲツ様とセミナーパーティが開催できたこと、SDA 様と合同新年会が栗林公園で開催できたことなど他団体との交流、JCD 各理事との交流、芸術アート、専門学校穴吹デザインカレッジデザイン展後援、企業とのコラボによる企画などたくさんのが実現でき、なんとか支部賛助会員も 8 社となりました。今後も新会員、支部賛助会員が増える楽しい支部活動へと考えていきたいと思います。

2018 年支部活動内容

- 3 月 17 日 ・平成 29 年度第一回臨時理事会（東京デザインセンター）
- 3 月 29 日 ・3 月パールガーデンランチ会議（SHIKOKU デザインフュージョン会議）
- 4 月 14, 15 日 ・財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ協力
- 4 月 21, 22 日 ・第 3 回 SHIKOKU デザインフュージョン開催、文化会館 3 階、
- 5 月 26 日 ・東京総会（カナダ大使館）定例理事会、定時総会、懇親会
- 5 月 31 日 ・ミケイラランチ会議
- 6 月 ・JCD デザインアワード一次審査
- 6 月 21 日 ・北浜アリーランチ会議
- 8 月 2 日 ・例会国際ホテルプールサイドビヤガーデン開催
- 10 月 19 日 ・例会四国支部 OB 会開催
- 11 月 2 日 ・JCD デザインアワード贈賞式（東京・明治記念館）
- 11 月 3 日 ・JCD 理事会、支部長会義（東京デザインセンター）
- 11 月 17, 18 日 ・財団法人川島猛アートファクトリー公開アトリエ協力
- 11 月 27 日 ・例会サンゲツセミナーパーティ開催

2019 年

- 1 月 16 日 ・賀詞交歓会（東京デザインセンター）
- 2 月 2, 3 日 ・専門学校穴吹デザインカレッジ、デザイン展 19 後援
- 2 月 26 日 ・JCD+SDA 合同新年会 栗林公園
- 3 月 16 日 ・第一回理事会（東京デザインセンター）

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

(1) 業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日/大光電機会議室）

毎月開催の月例会ですが、例年通り賛助会員にも参加いただき、運営会議の冒頭に商品 PR や企業セミナーなどを行いました。例会終了後には飲食店に移動しての懇親会を行ない、コミュニケーションを積極的に取りました。

○SODA 活動の開催（11 月/大分県杵築市立杵築小学校 6 年生）

SODA 本部から声かけをいただき、本部から新藤理事他 8 名と九州支部より 12 名参加し、1 泊 2 日のスケジュールにて児童 93 名 20 グループに向けて授業を行いました。九州支部

は毎年独自にデザインスクールキャラバンと言う出前授業を行なっていることから、SODA の経験があまり無く準備などに少々戸惑いもありましたが、いざ授業が始まると児童の熱気はどこも一緒に大変楽しく盛り上がりました。当日は杵築市長や教育長の他、教育関係者や地元企業の方々にも参加ご尽力いただき又、地元 TV や新聞各社も取材に連れられ、大成功となりました。

○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加（毎月/九州大学大橋サテライト）

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換をしました。リーグも法人化をして 11 年となり、JCD との今後の関わり方など支部内で検討中です。

(2) 交流委員会

○ビアパーティの開催（7 月/西鉄グランドホテル 屋上チャペルガーデン）

7 月の月例会は賛助会員とビアパーティを行い、沢山の参加をいただきました。「ビールと JCD は最強コンビ」をテーマに、楽しい暑気払いとなりました。

○JCD アワードパネル展の開催（10 月/パナソニックショールーム）

パナソニックショールームをお借りして、JCD アワードパネル展を 1 週間行いました。今回は賛助会員である九州デザイナー学院インテリアデザイン科の学生が、授業の一環として来場いただき商環境のトレンドを学んでいただきました。

○忘年会（12 月/博多ほてい屋）新年会（1 月/ヒルトンホテル焼肉慶）の開催

忘年会と新年会は賛助会員にも沢山参加いただき、盛大に盛り上がりました。

会員間のコミュニケーションも深まり、情報共有とモチベーションを上げる大変良い宴となりました。

(3) 広報委員会

○支部のホームページや Facebook・Instagram を運営しています。JCD の知名度拡大や会員増強のためにも SNS を利用し、支部活動をわかりやすく発信したいと思っています。運営方法などまだまだ模索中です。

<総評>

19 年間開催してきましたデザインスクールキャラバン出前授業が、諸事情にて今後中止せざるをえない状況となりました。今期は SODA を本部から声かけをいただき参加いたしましたが、今後は独自に開催できるよう会場探しを現在行なっています。

会員数も、日頃の地道な活動を通して JCD の知名度拡大を目指した結果、2 名増員しました。交流活動は毎年定例化していき、参加者も増え良いコミュニティの場となっています。今後も継続して行いたいと思います。広報活動の SNS 運営などはまだまだ課題もありますが、更なる会員増強のためにも有効活用できるよう今後に期待しています。

⑨ 沖縄支部（支部長：山里健市）

H30 年 4 月 ◇支部定例会の開催

今年度の活動計画について 各委員会との意見交換

- 5月 ◇インテリア産業協会主催の懇親会に参加。IC協会、メーカー等が参加されている中、沖縄支部からは10人程度参加し親睦を深めました。
◇総会・懇親会へ出席（沖縄支部から3名）
- 6月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
- 8月 ◇「JCD CREATERS BEACH BBQ 2018」をCOZY beach clubにて開催。
約80名の方に参加頂き例年同様、大盛況となり、今年も2社
支部賛助会員の入会へもつながりました。
◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
- 10月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
11月14日 坂田小学校へ SODA開催の事前説明会。
◇10月19～21日の3日間、沖縄コンベンションセンターにて開催された
「トータルリビングショー」へ今年も参加。インテリア産業協会のブース
にて 来場者の子供達を対象に簡易な店舗模型を製作。3日間 ≒70組の
親子 に来場頂きました。
- 12月 ◇支部定例会の開催
◇JCD 沖縄支部 忘年会(モノズクリガンバッタ 2018) の開催。
建築・インテリア・グラフィックというカテゴリーを設け、≒100名の
方々と1年を振り返る、異業種間 コミュニティの場としても定着してき
ました。
- 2月 ◇支部定例会の開催
各委員会活動報告
◇SODAを 坂田小学校6年生、127名を対象に24グループに分かれ、「ドリー
ムショップを作ろう！」というテーマにて開催。本部から1名、インテ
リアコーディネーター協会、インテリア産業協会、建築士会からも講師と
して参加頂き、無事 終了しました。地元2紙にも取材して頂き、次年度
の活動にも繋がりました。
- 3月 ◇定例理事会

<総 評>

30年度、SODAワークショップについては、1校の開催となりましたが、西原地区ではこの2年で3校目となり、先生や地域コーディネーターの皆様にもJCDの活動について一定の評価を頂き、次回開催についても1校は決定致しました。
交流・イベント事業としては、企画力の向上と共に一定数の参加を頂けるようになって

きており、支部賛助会員入会きっかけとなっております。JCD の活動を通して 認知度を高め、来年度は 正会員入会にも繋がるようにしていければと思います。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

①財務委員会 (委員長：太細 通)

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員が約 21 万円、約 1%強の増収、賛助会員は全国、支部とも増加し約 185 万円、約 16%の増収、合わせて約 206 万円、約 8%弱の増収となりました。また事業収入はシンポジウム SECTION への協賛が大幅に増え、新しく始めたデザイントーク・タカハシツキイチ等、講習会収入が大幅に増え、約 86 万円の増になりました。結果、事業活動収入合計では昨年度決算額より 320 万円増、予算に対しても約 400 万円増の約 4,580 万円になりました。

事業活動支出合計は、昨年度に比べ事業費支出では、設計奨励費がデザイン賞の DSA との統合の初期費用等で約 53 万円増、研修会費が 45 万円増、総会費が各支部での開催も含め 42 万円増、また発刊年であったため名簿刊行費が 36 万円増、一方セミナー育成費が soda ブックの作成がひと段落し 116 万円減、事業通信費が各支部の HP の更新が済 40 万円減、研修会費、広報費、委員会費が合わせて約 110 万円減でありこれらの活動減は反省すべき点です。管理費支出では、消費税 5 年分の納入で租税公課が約 140 万円増、各所での会議開催増に伴い会議費が約 75 万円増になりました。一方、事務局移転が終わり、通信運搬費が 74 万円減となりました。結果事業活動支出合計では昨年度決算額より約 24 万円の微減、予算に対しては約 66 万円増の約 4,060 万円となりました。

以上より、収支差額は昨年度決算額より約 340 万円増、予算に対しても約 330 万円増となり約 520 万円もの黒字を確保できました。

本部及び 9 支部を個別にみますと、7 支部は黒字を確保できました。東北支部が会議の増に伴う旅費交通費増で約 30 万円の赤字、沖縄支部が約 2 万円の赤字でしたが、いずれも繰越収支差額で十分カバーできています。しかし関西支部は次期繰越収支差額が当期事業活動支出計の 26%ですので、累損にならないためにも今期も厳しい予算管理が必要となります。一般社団法人への移行 6 年度目になりますが、全体的に非常に良い結果となりました。

②功労者選考委員会 (委員長：星 明臣)

メール等で委員間の意見交換・検討を重ね、3 月 16 日平成 30 年度第 2 回臨時理事会に先立って功労者選考委員会を開催した。

1. 委員会メンバー 出席者 奥平与人/評議員、小田秀樹/理事、寒川徹司/評議員、
太細 通/専務理事、山田悦央/評議員、星 明臣/委員長

2. 結果

1) JCD 特別功労賞 該当者なし

2) 支部功労賞

① 北海道支部から推薦があった平尾 哲会員は承認

② 関西支部から推薦があった岡島 昇会員は承認

3) 名誉会員

関西支部から推薦があった白井進会員、及び委員長から推薦があった野村武彦会員は推挙を見送り。

「名誉会員」選考基準に関し、定款や施行細則に表記されているが、一層の明瞭化を図るべく継続審議を行う。

名誉会員の選考に関しては当委員会の専管事項に戻します。

・建設事業関係功労者表彰（「国交省大臣表彰」「大臣表彰」と略）

昨年度は、新藤 力会員（関東支部・理事）が国交省大臣表彰を受賞しました。

現在、小田秀樹会員（関東支部長）を候補者として申請しております。

「国交省大臣表彰」については、候補者申請を継続していきます。

3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会（2回）

平成30年度定時総会

期日：平成30年5月25日 会場：カナダ大使館オスカーピーターソンシアター
社員出席：239（内委任状163、議決権行使23）名

平成30年度第1回臨時総会

期日：平成30年5月25日 会場：カナダ大使館オスカーピーターソンシアター
社員出席：216（内委任状165、議決権行使0）名

理事会（4回）

第1回定例理事会 期日：平成30年5月25日

会場：カナダ大使館4F エグゼクティブルーム
出席理事：20名

第1回臨時理事会 期日：平成30年5月25日

会場：カナダ大使館4F エグゼクティブルーム
出席理事：19名

第2回定例理事会 期日：平成30年11月3日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：24名

第2回臨時理事会 期日：平成31年3月16日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：21名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同)において、活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2019に参加した。また、日本インテリアデザイナー協会「World Interiors Week 2018 in Japan」、商業施設技術団体連合会「第16回主張する「みせ」学生デザインコンペ」、NPOユニバーサルイベント協会「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」、カフェレスジャパン「CAFERES JAPAN 2019」、ビジネスガイド社「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019」、関西インテリアプランナー協会「KIPA 第2回デザインコンペティション2018」、同協会「メゾン・エ・オブジュ 2018 パリ内『日本のかたち』展」、日本能率協会「s-DESIGN/店舗・商業空間デザイン展」、修成建設専門学校「卒業展2019」、香港貿易発展局「think GLOBAL, think HONGKONG」等への後援や、日本ショッピングセンター協会「第43回日本ショッピングセンター全国大会」、同協会「s-DESIGN/店舗・商業空間デザイン展」、近畿屋外広告美術組合連合会「SIGN EXPO 2019」、メッセフランクフルト ジャパン「インテリア ライフスタイル 2019」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2019」「建築・建材展2019」「ライティングフェア2019」、日本能率協会「第47回国際ホテル・レストランショー」等への協賛を行った。

4. 会員の移動状況

	29年度期末	年度内増	年度内減	30年度期末
正会員	419名	26名	24名	421名
賛助会員	166社	36社	13社	189社
名誉会員	10名	0名	2名	8名

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の24名である。

・退会申し出による者 18名

(北海道支部) 中山久明

(関東支部) 井上達也、大島文夫、奥山 裕、小田切純子、近藤康夫、田口祥子、
田谷利之、手塚浩晃、仁科和久、吉田淳一、渡邊哲也

(中部支部) 石黒孝志

(関西支部) 久保 茂、首藤展正、鶴岡輝幸、寺井義和

(四国支部) 尾崎由美

・死亡による者 1名

(関東支部) 大熊俊隆

・会費未納による者 5名

(関東支部) 東野龍也、山下 秀

(中国支部) 吉川彰英

(九州支部) 寺坂太志、山本浩司